学校番号	2101

令和８年度　学校設定教科

教科	自己実現のための日本語	科目	（学）日本語実践	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

外国にルーツがあり、より実践的な日本語を学びたい人のための授業です。
クラスのレベルに合わせた内容にしますから、安心してください。
日本社会で生きていくためにより実社会に即した内容の日本語を学びます。
宿題があるときは、必ず取り組むようにしてください。
またゲストとして講師がきてくれるときもあります。積極的に参加してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生活の上で必要なグローバリゼーションや多文化社会への理解を高める。
【思考力、判断力、表現力等】
地域とのつながりをとおして、他者とのかかわりや社会の現状などを考える。
【学びに向かう力、人間性等】
社会貢献することにより、自己認識を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・さまざまな言い回しを体得し、場面に応じて使い分けることができる。 ・文法・語彙の運用能力を強化する。	・現在の社会で起きている問題や各国が抱える問題について考え、自分の意見を発表することができる。 ・言語を問わず、情報に対する自分の考えや意見をまとめて相互理解を図ることができる。	・日本語が持つ特有の表現などを母語継承語と比較しながら認識を深めるとともに、言葉を通して他者や学校生活にかかわろうとする態度を養う。 ・日本語でのコミュニケーション力をつけ、日本で生き抜くための情報収集力や発信力をつけようとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	交流の準備	・名刺の役割について知る ・名刺交換の作法を学ぶ	a:名刺の役割について理解している b:自身を表す効果的な名刺が作れる c:より良い名刺交換をしようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・発問	・作品 ・観察 ・感想文
	ゲストの講話	・地域で活躍している方々のお話を聞く ・ゲストのお話から自分たちができることについて話し合う	a:ゲストの話の趣旨を理解している b:ゲストの話から課題を発見している c:ゲストの話から積極的に課題を考えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・スピーチ	・観察 ・感想文 ・発問
後半	学校への提案書	・学校の現状や課題について提案書を作成する	a:提案書に必要な要素を理解し記述している b:どのような課題があるのかを考えて日本語でまとめている c:より学校をつくるための課題を考えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・発問	・作品 ・観察 ・感想文
	学校の多言語化	・多言語で、学校をバリアフリー化する ・学校の紹介や案内について考える	a:わかりやすい情報の条件を理解している b:誰にでもやさしい表示方法を考えて実行している c:誰にでもやさしい学校にするための工夫を考えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・発問	・作品 ・観察 ・感想文
	他種学校との交流	・地域の学校の児童生徒と交流する ・言語資源を活用する	a:相手に合わせた言語レベルを使っている b:相手が楽しめる交流プログラムを考えられている c:積極的に相手と交流しようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・スピーチ	・観察 ・感想文 ・スピーチ
	地域の多言語化	・区役所における表示や案内の言語をバリアフリー化する	a:区役所の標識や案内板をわかりやすく書き換えられている b:誰にでもやさしい表示を考え実行している c:誰にでもやさしい地域にするための工夫を考えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・発問	・作品 ・観察 ・感想文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度